

# ROU KEN



## サルトリイバラ(猿捕茨) Greenbrier

ユリ科に分類される多年生植物(半低木)で中国、朝鮮半島、日本に分布。正しくは、菝葜(ぼっかつ)と書きます。莖が節ごとに曲がり、トゲもあるので、猿でもこれに引っかかるという意味から、この名がつけました。

サルトリイバラは私達の生活に身近な植物です。塊茎は山帰来(サンキライ)という生薬で吹出物、肌あれ、便秘などに効果があります。また西日本の一部の地域では、この若葉で餡餅(あんもち)を包み、端午の節句の柏餅のカシワの代わりに用いられる風習があります。いけばなでは、新芽、葉、果実ともよく使い、和・洋と応用できるため人気の花材でもあり、クリスマスや正月飾りにもよく使われています。きれいにドライフラワーになるので、プランツジュエリーとしても近年人気です。

サルトリイバラの花言葉は「不屈の精神」と「屈強」と「元気」などがあり、「今の熊本」に必要な、明るくポジティブな意味合いの言葉ばかりです。

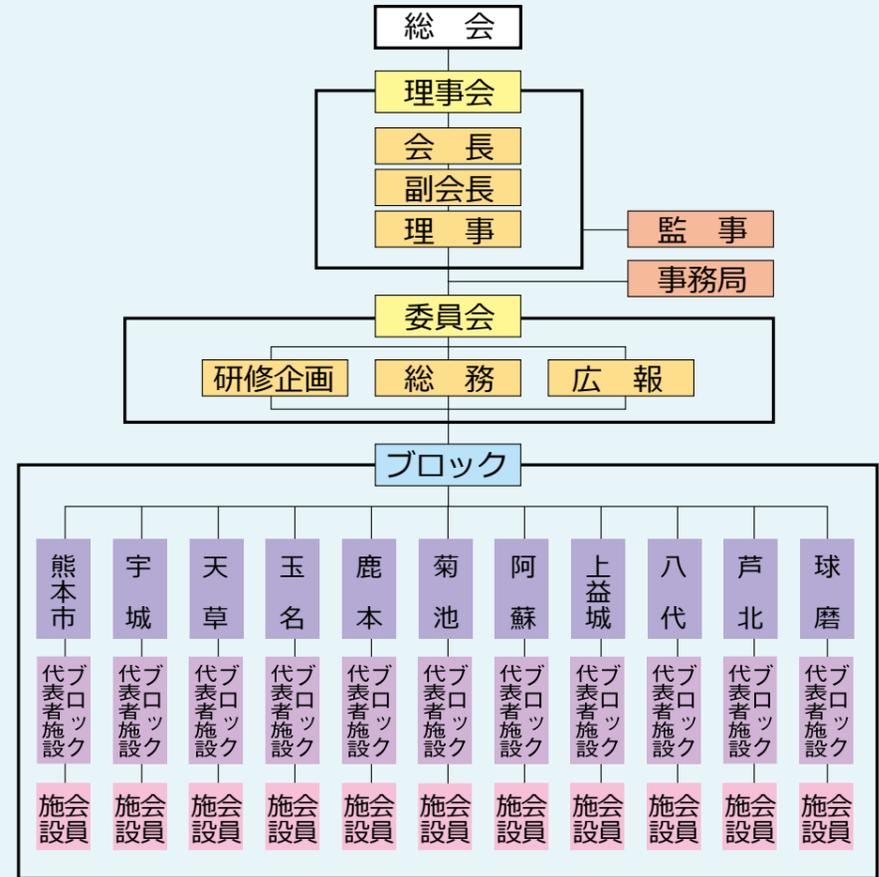


開花時期は4月～5月になります。緑色の花を咲かせます。そのため、緑色の花が咲く茨(イバラ)という意味で、greenbrierという英名になりました。

近縁種に「山帰来」という植物がありますが、厳密には違うものです。

## 一般社団法人 熊本県老人保健施設協会

一般社団法人熊本県老人保健施設協会組織図



- 総会 通常総会年1回6月に開催、臨時総会は必要に応じて開催。
- 理事会 通常理事会(年2回の開催、6月、3月)  
臨時理事会(必要に応じて開催する。)
- 委員会 ●総務委員会 理事会の指示のもとに会務全般の庶務を行う。具体的には事業計画の立案、実施状況の把握、老健運営上の課題の整理、県担当部局との調整など。  
●研修企画委員会 年間を通しての研修の企画、講師の選定、研修の運営、研修の評価等。  
●広報委員会 広報誌の発行、ホームページの作成、会員への情報伝達方法の検討。
- 各ブロック 地域振興局単位で意見の集約を図り、老人保健施設の立場から地域の活動に協力していくために、熊本市及び地域振興局単位でブロックを編成する。施設間、職種間での意見の交換を行い、課題の整理と活動を行うこととする。

目次

一般社団法人熊本県老人保健施設協会組織図・目次 .....2

国の方針と生き残れる老健の最低条件 理事 矢野辰志 .....3

研修会報告 感染症と薬剤使用に関する医師研修会 .....4~5

研修会報告 管理職員研修会 .....6~7

研修会報告 新人職員研修会 .....8~9

熊本県老人保健施設協会会員施設 .....10~11

施設紹介 .....12~15

くまもとをさるく .....15

原稿募集・編集後記 .....16

国の方針と生き残れる老健の最低条件

一般社団法人熊本県老人保健施設協会 理事

矢野辰志



介護費用抑制の為、厚生労働省はどのような介護サービスが高齢者の自立に効果があるのか、科学的に検証できる仕組みづくりを乗り出すことになりました。介護保険制度に基づくサービスの総費用は高齢化が進み、平成29年度当初予算で10兆8千億円になり、制度が始まった平成12年度の3倍になっています。国は費用を抑制するため「自立支援」と「重症化防止」に重点を置き、効果が裏付けられたサービスは介護報酬に反映させて普及を後押しする方針です。

全国の施設、事業所から入所者のリハビリや健康に関する情報を集め、30年度にデータベースの構築を始め、31年度に試行運用を目指し、32年度より本格運用を開始する予定です。具体的には全国の施設、事業所から高齢者の健康状態や認知機能、食事の摂取量、リハビリの内容など250以上の項目を収集する計画です。

以上のような国の方針ですが、今後、我々の

介護事業においても客観的評価が求められるのは避けられません。客観的評価に役立つのが全老健が開発したR4システムです。特に利用者の心身機能評価の尺度評価(ICF Staging)が有用です。ICFという国際的な心身機能の分類方法を用いて、全老健の長年のデータを統計的に解析し、個々の心身機能をいくつかの軸で分け、5段階の絶対値評価を行うというR4システム独自のものです。ICF Stagingとは、利用者が普段行っている生活機能をとらえるもので、利用者の普段行っている生活機能に着目したことが特徴です。たとえば歩行に関するものでは、難易度が高いものから「公共機関を使った外出」「手すりに頼らないで安定した階段の上り下り」「平らな場所での安定した歩行」「施設内での移動あり」「施設内の移動なし」をイラスト入りで示されており、現在のステータジにあり、どのようにして改善を目指すのか、

多職種連携でも共有しやすくしてあります。

こうしたものを「食事」「嚥下」「排泄」など14項目にわたって作成されており、リーダーチャートで表すことが出来ます。中でも在宅復帰で重要なのが排泄です。復帰前にこうした項目について現状を把握し、どのように目標をたてて実行するのかについて、家族を含む多職種で検討出来ます。

このICF Stagingを入所時と退所時にリーダーチャートで評価することで、老健施設が提供したケアの効果が一目でわかります。つまり「ケアの見える化」が可能になったのです。

「二部介助」という曖昧模糊とした表現では無く、14項目を5段階で評価できるICF Stagingを知った時はまさに「目からうろこが落ちた」思いでした。他介護施設・医療機関からの評価にも対応できるR4システムを取り入れていくことが今後、生き残れる老健の最低条件と考えます。

# 平成三十年年度 感染症と薬剤使用に関する医師研修会

平成30年7月22日(日)、熊本県医師会館において、「平成三十年度感染症と薬剤使用に関する医師研修会」が熊本県医師会の後援のもと、開催されました。当初は県内対象者のみの予定でしたが、他県からの要望もあり、参加者は九州圏内から老健施設の医師180名を超える出席のもと、適切な薬剤使用と代表的な感染症についての2部構成での充実した研修会が行われました。



開会の挨拶に立つ山田和彦会長

本研修会は、平成三十年四月の介護報酬改定の「所定疾患施設療養費(Ⅱ)の算定要件」を受けて行われたものです。

開会挨拶に立つ山田和彦会長は、老健施設の医療は正當に評価されていないという現場の声もあつた経緯にも触れ、平成二十四年の所定疾患施設療養費の制定を経ての今回改定について、深い感慨があると述べられました。

三年に一度となる今回の改定では国民一人ひとりが状態に応じた適切なサービスを受けられるよう、質が高く効率的な介護の提供体制の整備を推進することを目的としており「医療と介護の連携や高齢者の「自立支援」、「要介護状態の軽減」等を特に重視した内容になっています。

新設された所定疾患施設療養費(Ⅱ)の算定要件には以下の4項目が義務付けられることになりました。

- ① 診断及び診断に至った根拠、診断を行った日付、実施した投薬、検査、注射、処置の内容等を診療録に記載すること(協力医療機関等と連携して行った検査等を含む)
- ② 所定疾患施設療養費の算定開始年度の翌年度以降において、当該施設の前年度における当該入所者に対する投薬、検査、注射、処置等の実施状況を公表すること
- ③ 医師が感染症対策に関する研修を受講すること
- ④ 介護給付費明細書の摘要欄に診療内容を記載すること。

本研修会は「地域包括ケアシステム」の推進によって老健施設が存在感とより充実した医療行為が求められる中、③の要件に対応するもので、これまでよりもさらに適切な薬剤の使用と対象の感染症についての研修内容となり、熊本大学医学部附属病院から野坂生郷准教授をはじめ同病院から4名の講師をお迎えし、所定疾患施設療養費算定の対象疾患である「肺炎」「尿路感

染症」「带状疱疹(抗ウイルス剤点滴注射が必要の場合のみ)」等、6つのテーマに分けて講義を行っていただきました。また、各テーマについての質疑応答において

も、出席者の皆様から活発なご意見やご質問もあり、大変有意義な研修会となりました。なお、今回の研修の全課程修了者には、修了証が発行、配布されました。

## 「感染症と薬剤使用に関する医師研修会」の講義内容

「薬剤使用上の注意点」「感染症の標準的な検査・診断・治療について」の2部構成で講義が行われました。

### 1. 高齢者の特性に着目した薬剤使用上の注意点

**I：高齢者に対する薬物療法の基本的な考え方**  
熊本大学医学部附属病院 感染免疫診療部 野坂 生郷 准教授  
高齢者の生理機能に着目し、加齢によって変化する薬物動態と薬力学、相互作用変化、薬剤反応性への理解と、服薬状況の管理、服薬支援によって薬物有害事象の減少を目的とすることの重要性。

**II：多剤併用の問題点と減薬の考え方**  
熊本大学医学部附属病院 感染免疫診療部 宮川 寿一 助教  
75歳以上の薬剤の有害事象の現状を鑑み、多剤併用(ポリファーマシー)の対策として、減薬だけでなく適正な処方内容への改善、医師・薬剤師・看護師が連携していくことの重要性。

**III：薬剤耐性菌と抗菌薬等の適正使用**  
熊本大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤師 尾田 一貴 様  
抗菌薬の開発停滞がもたらす薬剤耐性(AMR)の脅威が現実的なものになる中、抗菌薬の不必要・不適切な使用の回避と、感染臓器・微生物の正確な推定による狭域抗菌薬の使用を推奨。

### 2. 老人保健施設で見られる代表的な感染症の標準的な検査・診断・治療について

**IV：肺炎**  
熊本大学医学部附属病院 感染免疫診療部 野坂 生郷 准教授  
高齢者の死因の大きな割合をもつ肺炎の市中肺炎、院内肺炎、医療・介護関連肺炎に症例群への分類、重症度の評価と治療方針、抗菌薬の適正使用の重要性、誤嚥性肺炎等の症例への対応。

**V：尿路感染症**  
熊本大学医学部附属病院 感染免疫診療部 宮川 寿一 助教  
感染症予防の8割をカバーするための血液培養、尿一般検査・培養、胸部レントゲンの推奨と、総合内科的疾患である尿路感染症についての病歴聴取と各種検査の必要性。

**VI：带状疱疹**  
熊本大学医学部附属病院 感染免疫診療部 中田 浩智 講師  
带状疱疹のリスクと医療関係者を含むワクチン接種の有効性、早期診断・治療開始の重要性と接触予防策・空気感染対策の必要性。また、50歳以上の患者へのワクチン接種を推奨。

## 熊本大学医学部附属病院の講師の先生方



熊本大学医学部附属病院 感染免疫診療部 准教授 野坂 生郷 先生



熊本大学医学部附属病院 感染免疫診療部 助教 宮川 寿一 先生



熊本大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤師 尾田 一貴 先生



熊本大学医学部附属病院 感染免疫診療部 講師 中田 浩智 先生

## 高齢者虐待、身体拘束の現状と課題

身体的拘束等の適正化を図るため、居住系サービス及び施設系サービスについて、身体的拘束等の適正化のための指針の整備や、身体拘束等の適正化のための対策を検討する委員会の定期的な開催などを義務づけると共に、義務違反の施設の基本報酬を減額することになりました。また、改定の中で「身体拘束等の適正化」の指針の整備や、対策を検討する委員会の開催が義務付けられました。

この改定にともない、平成30年8月1日(水)、ホテル熊本テルサにおいて身体拘束・高齢者虐待について管理者、施設長、所属長など指導的立場にある方を対象に研修を実施しました。講師に、熊本県健康福祉部長寿社会局認知症対策・地域ケア推進課 今田潤一郎氏、介護老人保健施設ひむか苑施設長 榎橋弘喜氏をお招きし、「身体拘束・虐待に関する現状と課題」「身体拘束・虐待を予防するための組織づくり」について講演をいただき、その後、参加者でグループに分かれ、発表と質疑応答を行いました。



介護老人保健施設  
ひむか苑 施設長  
榎橋弘喜 氏

### 高齢者虐待防止法の概要

正式名称・・・高齢者に対する虐待の防止、  
**高齢者の養護者に対する支援**  
等に関する法律  
法律の目的 ①**高齢者の尊厳の保持**  
②**高齢者虐待の防止**  
③**保護・支援等の必要な措置**

高齢者の権利利益の擁護に資する

### 高齢者虐待の考え方

- ・気付かれていない虐待がありうる。
- ・暴力や虐待の言動の周辺には、適切ではない言動が予兆として存在することが多い。
- ・暴力は犯罪であるという認識のもと、決定的な虐待を見逃してはならない。

### 身体拘束と高齢者虐待との関係

身体拘束は、「緊急やむを得ない場合」以外は原則としてすべて高齢者虐待。

- ・判断は職員個人で行うのではなく、施設全体の判断で行う。
- ・身体拘束の内容や目的は、高齢者本人や家族に対して十分に説明し理解を求める。

### 身体的拘束等の適正化を推進するための介護報酬に改定

#### 身体拘束廃止未実施減算

現行 5単位/日減算 → 改定後 10%/日減算

- ・身体拘束等を行う場合には、その態様・時間・心身の状況及びやむを得ない理由を記録
- ・3ヶ月に1回以上の委員会開催の実施と、従業員への周知徹底。  
様式の整備→記録して報告→報告を集計、分析→事例の適正性と適正化策の検討  
→分析の周知徹底→効果についての評価
- ・身体的拘束等の適正化のための指針の整備
  - ①適正化に関する基本的考え
  - ②委員会やその他施設内の組織に関する事項
  - ③職員研究に関する基本方針
  - ④報告方法等のための方針に関する基本方針
  - ⑤身体的拘束等発生時の対応に関する基本方針
  - ⑥入所者等に対する当指針の閲覧に関する基本方針
  - ⑦適正化推進のための必要な基本方針

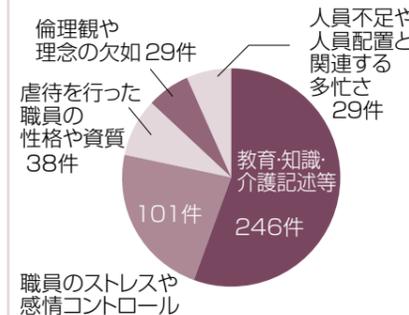
#### グレーゾーンの例

- ・ドアが開けっ放しのトイレ
- ・車いすを押すときの声かけ
- ・業務中の職員の会話
- ・自分で食べられるのに全介助
- ・強制的に送迎バスに乗せる

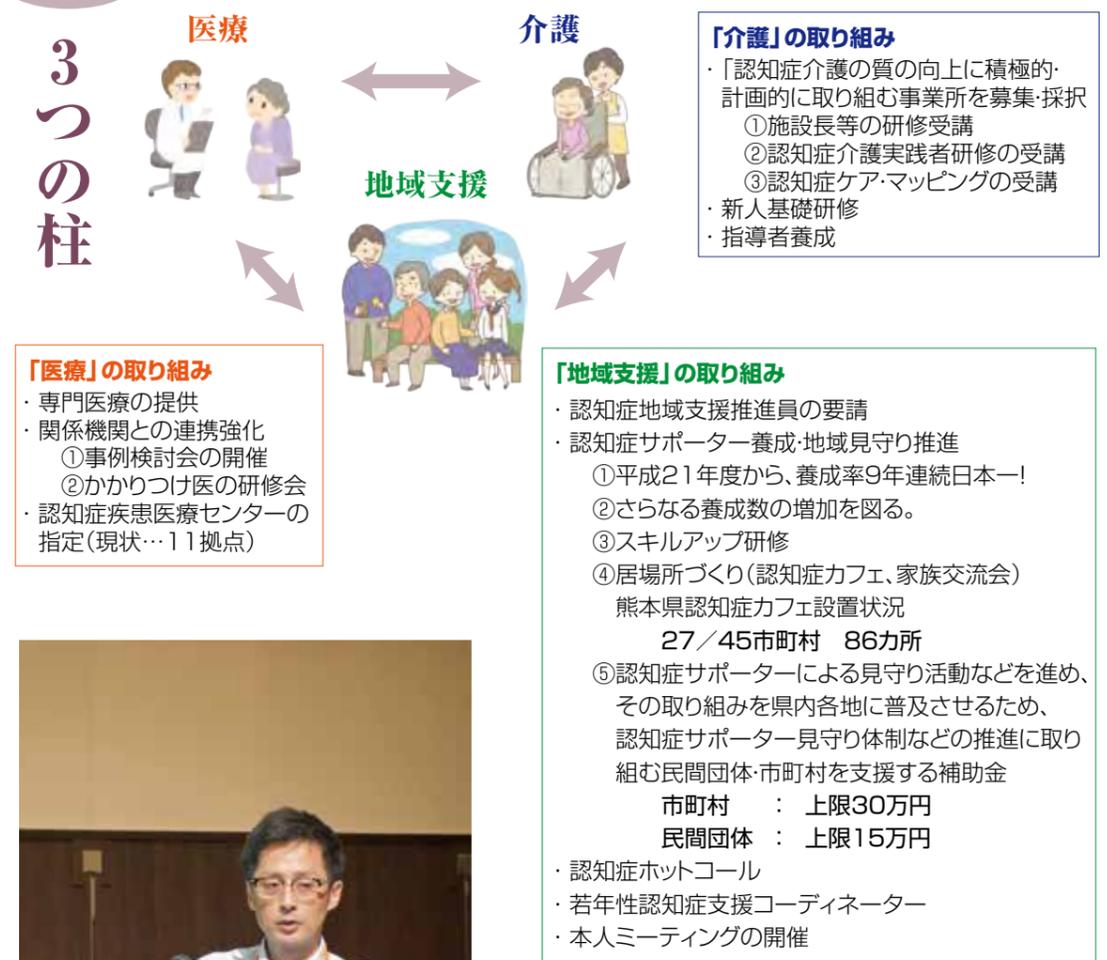
#### 虐待

身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待、経済的虐待の5分類の他、虐待と適切なケアの境目であるグレーゾーンが存在

#### 介護施設で虐待が起こる要因



### 現状 熊本県における認知症施策体系



熊本県健康福祉部長寿社会局  
認知症対策・地域ケア推進課 主幹  
今田潤一郎 氏

### 従業員に対する、身体的拘束等の適正化のための定期的研修の実施

研修プログラムを作成し、定期的な年2回以上の教育を開催し、新規採用時には必ず研修を実施する事が重要。研修の実施内容についても記録しておく。

### 虐待を防止するために

#### 一人ひとりが取り組むこと

- ・高齢者虐待とは何かを知る
- ・認知症ケア等についての知識・技術の向上
- ・怒りのコントロール
- ・セルフチェックリスト
- ・ストレスマネジメント
- ・倫理観を高める

#### 組織として取り組むこと

- ・職員の知識・技術の修得支援
- ・高齢者虐待の認識の共有
- ・職員の働きやすさを支える
- ・困りごとを話し合い、風通しのよい組織づくり
- ・苦情対応体制の見直し
- ・ヒヤリハット、事故報告書の分析
- ・高齢者虐待防止・対応マニュアルの作成

#### チームとして取り組むこと

- ・アセスメントに基づく個別ケアの推進
- ・適切なチーム編成
- ・家族との適切な関係の構築

グレーゾーンは虐待であるという認識を持つ

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、国民1人ひとりが状態に応じた適切なサービスを受けられるよう、質が高く効率的な介護の提供体制の整備を推進します。

個人の意識改革と組織的運営の見直しで虐待防止に努め、地域との積極的な交流などで「外部に開かれた施設」に。

#### 新規事業

#### 認知症サポーターアクティブチーム認定事業

受講者を「認知症アクティブサポーター」として市町村名簿に搭載し、チームについては、知事が認定

**目標** 平成32年度までに、全市町村に認定された団体がある状態を目指す。

# 「平成30年度 新人職員研修会」盛会に終わる

現在の介護業界をとりまく環境は、今後の高齢者社会にともない人手不足という大きな課題をかかえています。2025年以降からの75歳以上の増加を考えると、私達は老健施設の役割をきちんと認識し、そしてその目的を果たしていかなければなりません。その事をふまえて、多くの方が参加できるように、同プログラムによる新人職員研修会を5月と6月の2回行い、合計170名の方に参加いただきました。

【1回目】  
日 時 : 平成30年5月11日(金)  
参加者数 : 75人  
【2回目】  
日 時 : 平成30年6月15日(金)  
参加者数 : 95人

## 新人職員研修会の講義の内容をご紹介します。

### 講義1 介護老人保健施設の理念と役割について

熊本県老人保健施設協会 山田 和彦会長

2015年の高齢化の社会像の実態をもとに、今後の2025～2030年高齢社会問題を考えると、2025年問題は地域包括ケアシステムの構築で、要介護状態になっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを最後まで続けられるよう支援していく必要があります。そのためにも、介護老人保健施設の新しい理念と役割(包括的ケアサービス施設)ハビリテーション施設在宅復帰施設在宅生活支援施設地域に根ざした施設をしっかりと認識していただきます。

多職種協働でのサービス提供による、生活機能の維持回復そして、在宅復帰在宅ケアと地域との連携と地域ケアの拠点を期待されているのが介護老人保健施設の機能です。そしてこれからの介護老人保健施設は、在宅

支援型老人保健施設を目指していかなければなりません。医療も提供でき、地域医療を担っている重要な施設が介護老人保健施設の役割です。

### 講義2 社会保障や介護福祉士について

日本介護福祉士会熊本県介護福祉士会 石本 淳也 会長

憲法に定めてある「生存権」「幸福追求権」は福祉の基本的なところにあります。つまり私達の行為は人々を幸福に導くもので、この2つを十分に理解し覚えておく必要があります。

今後総人口は減少しますが、高齢化は進み社会保障を必要とする人は増え、財源的問題と介護人材の問題に直面してきます。この状況下ではサービスや人材についても、必要なものとして整理されていきます。また、報酬改定率も変更されていくと利

用者様の負担がプラスになり、利用者様が良かったと思えるサービスを提供していかなくてはなりません。

今の時代は重度になる前から手当が必要で、総合的な自立支援が必要です。その支援には介護人材に求められる機能の明確化と、キャリアアップを図っていく必要があります。制度の改正等も見直されており、介護職も手厚い処遇になるようになっていかなければなりません。これを踏まえて新人の方にも頑張ってくださいと思います。

### 講義3 身体拘束虐待防止について

介護老人保健施設 阿房宮 佐伯耕 介護主任

身体拘束については緊急やむを得ない場合「切迫性」「非代替性」「時性」の要件を満たし、それらの確認等の手続きが極めて慎重に実施されているケースのみに限られます。

原則3ヶ月です。他には特別養護老人ホーム長期入院して療養する介護療養型医療施設の3種類がありますが、それぞれの施設で費用負担の問題も大きな課題です。利用者様には新人もベテランも関係ありません。わからない事は尋ねメモをし、今できることに努力を惜しまないで下さい。



それらの緊急を除き、身体拘束は高齢者虐待に該当すると考えられています。また、身体拘束廃止未実施減算があり、身体拘束等を行う場合の記録対策を検討する委員会を3ヶ月に1回以上の開催と関係者への周知定期的な研修の実施が算定要件になっています。

な役割です。生活リハビリテーションについてはその人らしさを重視し、それぞれの専門職の視点から係わり支援していきます。施設と利用者様との協力や役割責任分担を示すためにも、自分の施設の各契約書には必ず目を通して下さい。施設で「できること、できないこと」、施設と利用者様で「すべきこと、やってほしくないこと」をはっきり明確化しておく必要があります。

### 講義4 老健で多職種協働について

介護老人保健施設 あさひコート 中嶋健一 相談室室長

介護老人保健施設の理念、それぞれの施設の理念、理念は迷った時のみちのりへでもあり、もっとも大切なものではないかと理解を促しています。

介護老人保健施設の役割を果たすためには、チームケアを取り組まなければなりません。それぞれの職種の知恵と力を合わせて協働し、チームとして利用者様へ必要なサービスにより効果的に提供していきます。多職種チームとして情報発信も施設の重要

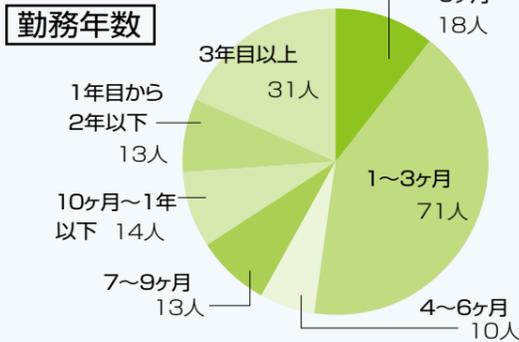
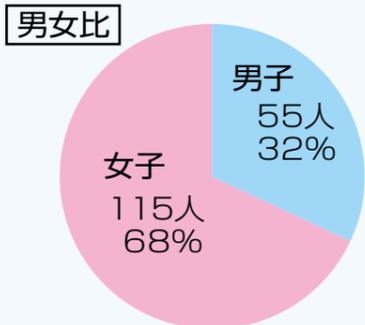
### 講義5 介護保険制度の基礎

介護老人保健施設 なごみの里 西田 剛 事務局長

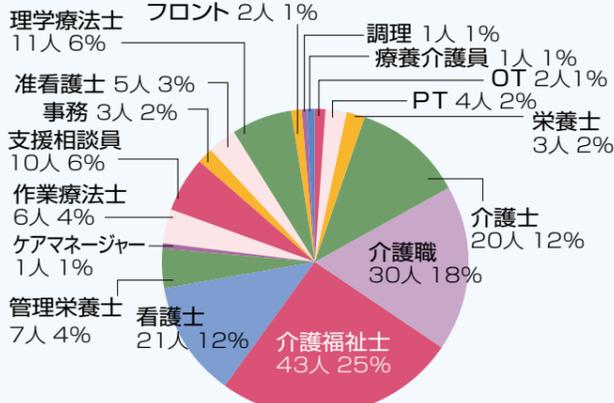
平成12年に開始された介護保険制度は、高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組みで、「自立支援」「尊厳の保持」「国民連帯による支え合い」を目的としています。これにより、利用者様が施設やサービスの提供等を選ぶ事ができるようになり、所得にかかわらずに負担額がかわりました。

要介護認定には一次二次判定から認定が出ます。認定が出たら、在宅か施設、サービスの計画そしてサービス利用となります。介護老人保健施設は介護保険を利用できる公的な施設で、リハビリを中心とし入居は

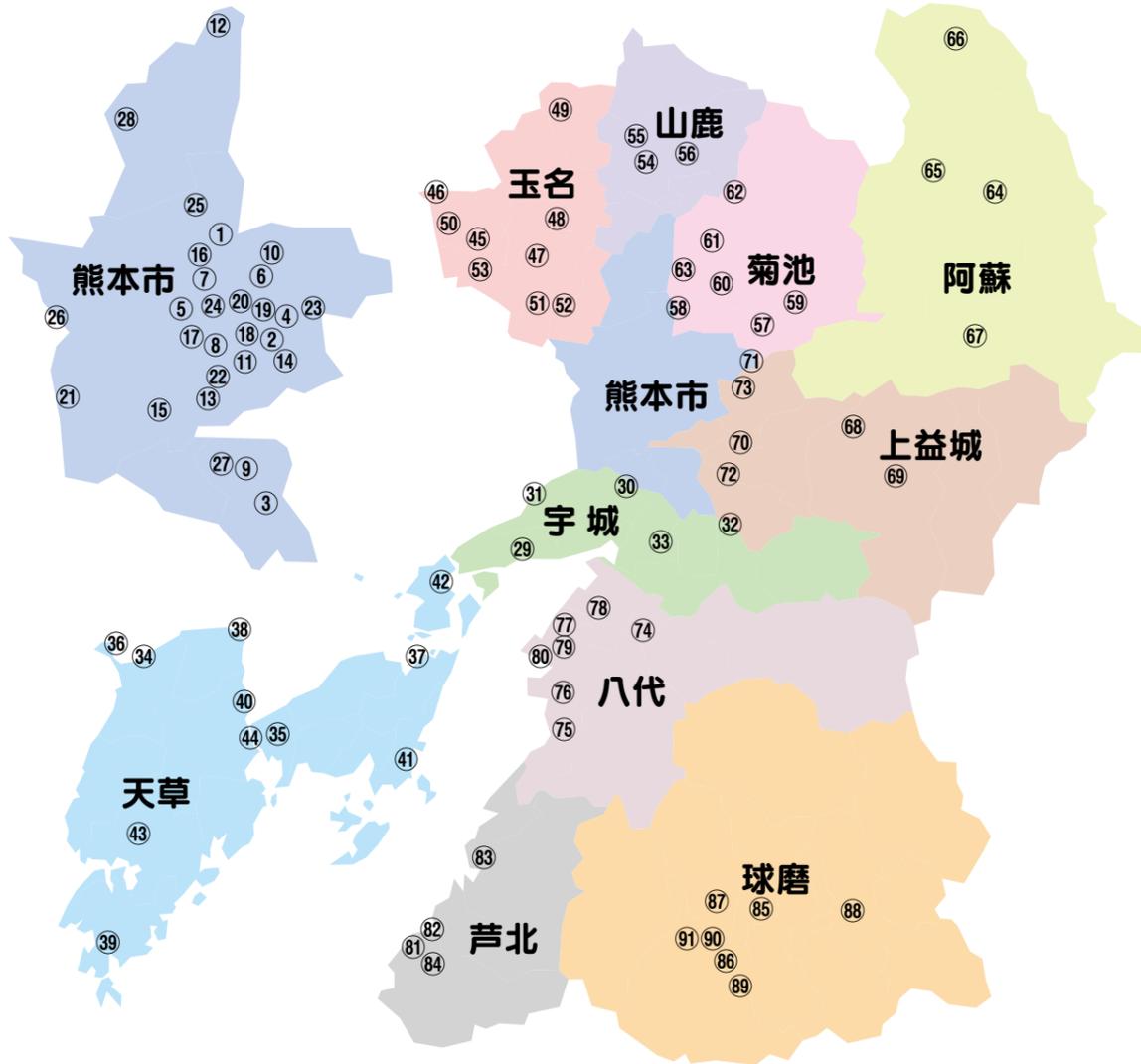
平成30年度 新人職員研修会 参加者の割合 合計170人



- 新人職員の意見(グループワークにて)
- 名前を覚えるので大変
  - 利用者とのコミュニケーション不足を感じる
  - 他職種に意見が出せない
  - 行事ネタがない
  - 先輩からのアドバイスにばらつきがある
  - 病院と老健での違いがある
  - 病院からの先が見えて良い
  - 看護と介護の見方が違いがある
  - 施設のルールは守る
  - 新人だから見える事もある
  - 多職種の連携は必要
  - 食事変更が多い



## 熊本県老人保健施設協会会員施設



- ①清雅苑 熊本市北区山室6丁目8-1 096-345-8112
- ②コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上1丁目3-12 096-384-8088
- ③桔梗苑 熊本市南区城南町沈目1481 0964-28-6811
- ④レ・ハビリス桜十字熊本東 熊本市東区三郎1丁目12-30 096-385-6262
- ⑤青翔苑 熊本市西区島崎2丁目21-10 096-359-5377
- ⑥阿房宮 熊本市北区龍田陳内1-3-20 096-337-1111
- ⑦杏の里 熊本市西区池田1丁目14-78 096-351-2788
- ⑧南楓苑 熊本市中央区南熊本2丁目11-1 096-371-5111
- ⑨光乃里 熊本市南区城南町今吉野972 0964-28-8000
- ⑩ぎんなんの里 熊本市北区楡木1丁目3-70 096-337-2700
- ⑪湧心苑 熊本市中央区出水4丁目15-30 096-371-4165
- ⑫ケアビレッジ箱根崎 熊本市北区植木町正清888 096-274-7700
- ⑬ぼたん園 熊本市南区御幸笛田6丁目8-1 096-370-1222
- ⑭第二コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上1丁目8-8 096-360-3111
- ⑮白藤苑 熊本市南区白藤5-1-1 096-358-7200
- ⑯みつぐ苑 熊本市北区貢町135 096-323-6123
- ⑰のぞみ 熊本市中央区本荘3丁目7-18 096-371-3399
- ⑱シルバーピア水前寺 熊本市中央区水前寺5丁目2-22 096-384-3399
- ⑲メディエイト鶴翔苑 熊本市東区保田窪本町10-112 096-387-8181
- ⑳フォレスト熊本 熊本市中央区渡鹿5丁目1-37 096-363-0101
- ㉑なすび園 熊本市西区沖新町3353 096-329-5666
- ㉒田迎ケアセンター 熊本市南区出仲間5丁目2-2 096-378-2223
- ㉓ケアセンター赤とんぼ 熊本市東区戸島西2丁目3番10号 096-331-3737
- ㉔なでしこ 熊本市中央区北千反畑町2-5 096-343-7450
- ㉕かなこぎ苑 熊本市北区硯川町768-1 096-275-2788
- ㉖葵の森 熊本市西区松尾町近津1480番地 096-311-4004
- ㉗ゆずりは 熊本市南区城南町高1099 0964-28-6311
- ㉘ひらた苑 熊本市北区植木町平原212 096-272-5486

- ㉙青海苑 宇城市三角町郡浦739-8 0964-54-1311
- ③⑩あさひコート 宇土市旭町106番地 0964-23-5211
- ③⑪景雅苑 宇土市上綱田町3676 0964-27-1708
- ③⑫なごみの里 下益城郡美里町堅志田192-1 0964-47-6011
- ③⑬松幸 宇城市松橋町西下郷544 0964-32-5516

- ③⑭慈恵苑 天草郡苓北町上津深江278-10 0969-37-1567
- ③⑮本渡ケア・ホーム 天草市下浦町2090-1 0969-24-3331
- ③⑯臥龍園 天草郡苓北町富岡3273番地2 0969-35-1530
- ③⑰松朗園 上天草市松島町今泉32-1 0969-56-3111
- ③⑱ブルーマリン天草 天草市五和町御領9133 0969-32-2112
- ③⑲ケアセンター鶴丸 天草市久玉町62-1 0969-72-6072
- ④⑰天草中央総合病院附属 天草市東町101 0969-22-2111
- ④⑱きららの里 上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19 0969-62-1123
- ④⑲ほんごう苑 上天草市大矢野町登立8607 0964-56-5110
- ④⑳ケーナ・ガーデン 天草市河浦町河浦4778-3 0969-76-1808
- ④㉑夢織りの里天草 天草市楠浦町字掛場59番5 0969-22-8288

- ④㉒聖ルカ苑 玉名郡長洲町宮野2772-10 0968-78-5521
- ④㉓慈眼苑 荒尾市増永708-2 0968-64-1018
- ④㉔樹心台 玉名市伊倉北方272 0968-73-4165
- ④㉕ゆうきの里 玉名市上小田1063 0968-74-0666

- ④㉖清風苑 玉名郡和水町上板楠1697-1 0968-34-3700
- ④㉗平成ドリーム館 荒尾市水野1556 0968-68-7770
- ④㉘星雲荘 玉名市横島町横島3384 0968-84-3717
- ④㉙てんすい倶楽部 玉名市天水町部田見1214-15 0968-71-5600
- ④㉚幸 玉名市岱明町鍋1831 0968-57-5105

- ④㉛希望の園 山鹿市山鹿369 0968-44-2100
- ④㉜山鹿リハビリセンター 山鹿市熊入町313 0968-43-4370
- ④㉝太陽 山鹿市鹿本町津袋654-1 0968-46-6111

- ④㉞サンライズヒル 菊池郡菊陽町曲手760 096-232-5656
- ④㉟桜の里 合志市須屋702 096-343-8377
- ④㊱おおつかの郷 菊池郡大津町陣内1165 096-294-1500
- ④㊲ひらせ記念リハビリ苑 合志市福原3111 096-248-7100
- ④㊳孔子の里 菊池市泗水町福本904-1 0968-38-5666
- ④㊴リハビリセンターきくちの里 菊池市大琳寺123 0968-23-7721
- ④㊵有隣 合志市野々島字東原4414-17 096-242-5050

- ④㊶阿蘇グリーンヒル 阿蘇市一の宮町宮地121 0967-22-0500
- ④㊷愛・ライフ内牧 阿蘇市内牧1105-1 0967-32-5511
- ④㊸おぐに老人保健施設 阿蘇郡小国町大字宮原1742-1 0967-46-6111
- ④㊹リハセンターひばり 阿蘇郡南阿蘇村大字吉田2044-2 0967-64-8000

- ④㊺彩雲苑 上益城郡山都町北中島2701 0967-75-0222
- ④㊻ライフライト矢部 上益城郡山都町下市60 0967-72-1110
- ④㊼御船清流園 上益城郡御船町御船1062-1 096-282-1616
- ④㊽平成唯仁館 上益城郡益城町宮園字三の迫1139-1 096-286-0666
- ④㊾ナーシングケア緑風苑 上益城郡甲佐町白旗271 096-234-3788
- ④㊿ケアポート益城 上益城郡益城町安永1030 096-289-0777

- ④㊿八祥苑 八代市氷川町早尾1097 0965-62-4818
- ④㊿ハピネスケア日南 八代市日奈久塩北町2922 0965-38-0700
- ④㊿向春苑 八代市大福寺町2411-1 0965-33-8660
- ④㊿アメニティゆうりん 八代市古閑浜町西塩浜3401 0965-33-8880
- ④㊿かがみ苑 八代市鏡町塩浜235 0965-30-4000
- ④㊿皇寿園 八代市高島町4218 0965-33-5545
- ④㊿とまと 八代市郡築1番町180-1 0965-37-3737

- ④㊿やすらぎ苑 水俣市浜4051 0966-63-8621
- ④㊿白梅の里 水俣市浜4098-18 0966-63-3888
- ④㊿新清苑 芦北郡芦北町大字芦北字塩屋田尻2727-1 0966-61-3055
- ④㊿淵上 水俣市塩浜2番19号 0966-63-6551

- ④㊿サンライフみのり 球磨郡相良村大字川辺1778 0966-35-0840
- ④㊿リバーサイド御薬園 人吉市七地町495 0966-22-6811
- ④㊿山江老人保健施設 球磨郡山江村大字山田字南永シ切1705 0966-24-9800
- ④㊿シルバーエイト 球磨郡多良木町大字多良木4210 0966-42-5288
- ④㊿タンポポ 人吉市下漆田町字後平1538 0966-25-1551
- ④㊿愛生 人吉市南泉田町89 0966-28-3586
- ④㊿もみの木 人吉市下林町232 0966-22-0200

●は平成30年度ブロック代表者施設です。

## 阿蘇ブロック 67 リハセンターひばり

熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字吉田2044-2  
TEL 0967-64-8000 FAX 0967-64-8003  
入所定員：50名 通所定員：60名

当施設は南阿蘇村の一角、阿蘇の中岳を背に、前方にカルデラの凹地、その先に南外輪の山々を望める風光明媚な場所に位置しています。医療法人大徳会が平成14年に設置した独立型の介護老人保健施設です。明るい色調の山小屋風の建物は国道沿いにあり、地域のランドマーク的存在で、気づかれた方も多いと思います。施設の前面には芝生広場があり、また施設に近接する高台には108体のお地藏様がおられ、優しいまなざしを注がれています。そしてともにご利用者の散歩コースで、足腰の強化を図り自立に向けてのリハビリに



活用されています。また、1階通所横には天然温泉の足湯があり、温泉小屋からは湯気と賑やかな声が漏れてきます。2階には広いベランダがあり、そこにはベンチも置かれ季節折々花も咲き、2階、3階の老健ご利用者の寛ぎの空間となっています。これらの豊かな自然を生かしながら、この後も、リハビリ機能の一層の強化をはかることで、南阿蘇唯一の老健としての地域の中でしっかり役割を果たしていきたいと考えています。

## 熊本市ブロック 24 なでしこ

熊本市中央区北千反畑町2-5  
TEL 096-343-7450 FAX 096-343-7457  
入所定員：62名 通所定員：20名



当施設は県内にある老健施設のなかでは比較的若い施設(平成15年開設)ですが、併設医療機関である「表参道吉田病院」は明治34年(西暦1901年)に医業を開始しており私立の医療機関としては熊本市内では屈指の歴史を有します。

熊本市中央区の藤崎八幡宮の参道沿いに所在し、付近には「上通り」や「子飼商店街」があり、熊本市の下町的な場所に位置します。

施設形態は熊本県内では当施設のみだと思われるが、前述の併設病院と同一建物で事業を実施している為、

利用者の急変時等には昼夜を問わず迅速に医療のバックアップを受ける事が可能です。利用者及び利用者家族に安心を与える事が出来ると共に、働く看護職にとりましても精神的負担(ストレス)の軽減に繋がっております。

今後は当施設に限らず雇用難がより深刻化するなか、これまで以上に働きやすい職場環境を整備する必要に迫られております。当施設では介護業務の分業化(介護アシスタントの積極雇用、歯科衛生士による口腔管理)、施設内保育施設の利用無料化、計画的有給休暇付与制度の導入等を既に実施しておりますが、今後も職員の確保(=良質な介護の提供)の為に施策を考えながら事業を実施して参りたいと思っております。



## 熊本市ブロック 23 ケアセンター赤とんぼ

熊本市東区戸島西2丁目3-10  
TEL 096-331-3737 FAX 096-360-7103  
入所定員：100名 通所定員：130名

～人生の目標とは、楽しむこと。  
元気でなが生きするための  
サービスを展開していきます～



熊本市東区の国道道路に面した5階建ての明るい雰囲気建物です。広い駐車場が整備され気軽に訪れることができます。医療機関の「仁誠会クリニックながみね」が併設され、「心ひとつ」の理念の下、福祉・医療の密接な連携が行われています。施設内壁には活性炭を塗りこみ、臭気・湿気を防止。床は転倒ショックを吸収するように弾力をもたせています。1階の通所リハビリテーションフロアには床暖房を取り入れ、快適な空間作りになっています。また、理美容室も併設されています。3階・4階が

入所フロアです。各階に浴室を設け、アーム型バスリフト、ストレッチャー型特殊浴、個人浴、大浴場があり身体機能に合わせて選ぶことが出来ます。天井が高く広いロビー、光が差し込む明るい食堂になっています。四季折々の素材を食器や盛り付けに配慮しながらの食事は「おいしい」との評価を頂いています。やさしく、やわらかく、あたたかくの合言葉のもと、お一人おひとりに合わせたリハビリテーションを行い、その人らしく過ごせるように支援いたします。

今後も地域の方々やボランティアさんによる多数の趣味の講座の活動を通し、皆様と共に大きな家族のように心を寄せ合い利用者さん・ご家族が楽しく明るい毎日を過ごして頂けるように取り組んでいきます。



## 玉名ブロック 50 平成ドリーム館

熊本県荒尾市水野1556番地  
TEL 0968-68-7770 FAX 0968-68-7772  
入所定員：76名 通所定員：117名

当施設は、平成10年県北西部の荒尾市に、藤枝医院併設として開設し、今年で20年を迎えます。「お年寄りに夢と光を」を施設理念に掲げ、自分や自身の家族に受けてもらいたいサービスを提供することが基本姿勢となっています。施設には、多職種の専門職があり、特徴的な資格者として、健康運動指



導士や言語聴覚士、歯科衛生士、認知症ケア専門士も複数在籍し、在宅強化型老健としての在宅復帰に貢献しています。また食にはこだわりを持ち、地産地消の食材を使い、施設の厨房で調理し食形態にも配慮した料理を提供しています。お風呂は源泉かけ流し天然温泉を利用、露天風呂も完備し、ご利用者に体調が良くなったと喜ばれています。今後は、老健としての役割である在宅復帰、訪問リハビリ・通所リハビリ・短期入所等の在宅療養支援に加え、状態を見ながら必要な期間繰り返し入所しながらお住いの地域で暮らし続け、看とり支援まで行う施設として地域に貢献していきたいと思っております。



八代ブロック 79  
**皇寿園**

熊本県八代市高島町4218  
TEL 0965-33-5545 FAX 0965-31-6090  
入所定員：75名 通所定員：40名

介護老人保健施設皇寿園は、八代市高島町に独立型の介護老人保健施設として開設し、今年で二十年を迎えました。施設の近くに大型ショッピングセンター、八代市街地循環バスが徒歩5分圏内にあり、緑豊かな田園に囲まれ、三階のベランダからは海外のクルーズ船や島々を遠くに一望できます。また、福祉農園にて、自家栽培のお米や野菜を使ったお食事を提供しています。



当施設では、①人生の先輩から学ぶ姿勢 ②明るい挨拶和やか会話の中に心のこもったお世話 ③利用される人の個に応じたお世話を基本理念として一人一人を尊重したサービスを提供し、心に生きがいを、体に動く喜びを利用者様と共に育む場所になるよう取り組んでおります。

利用者様やご家族様と積極的に交流を深め、信頼される身近な施設として、寄り添ったケアを提供する為、職員一同取り組んで参ります。

水俣ブロック 84  
**湧上**

熊本県水俣市塩浜町2-19  
TEL 0966-63-6551 FAX 0966-63-5471  
入所定員：65名 通所定員：0名



当施設は、平成29年7月に熊本県水俣市に開設いたしました。当施設では、明るく家庭的な雰囲気を重視し、入居者様がこやかに個性豊かに過ごすことができるように、サービス提供しております。

また当施設は、病院から転換した施設ですので、看護師が多く医療必要度の高い入所者様の受け入れも可能です。今後は更に地域の方々の健康で安寧な生活のために貢献して参りたいと考えております。

**投稿**

くまもとをさるく

**巡礼の里で観音さまと出会う**



春にはさわやかな風と川の音がやさしく、そして秋には紅葉の優雅な色ではえる人吉球磨地方。先人のおもてなしの心を受け継ぎ、やさしさに出会える街です。相良700年の歴史の中で守り受け継がれてきた社寺や仏像、観音さまが多く現存し続けています。

特に、青井阿蘇神社は九州では宇佐神宮と共に国宝の神社で、全国の国宝神社では唯一の茅葺き神社です。社殿には黒漆がふんだんに使われ、相良藩の当時の財力がうかがわれます。まずは青井阿蘇神社を参拝し、相良33観音めぐりで自然豊かな人吉球磨地方を訪れてはいかがですか。春と秋のご開帳ではやさしいお顔の観音さまが迎えつけてくれます。(記十肥)



菊池ブロック 61  
**孔子の里**

熊本県菊池市泗水町福本904-1  
TEL 0968-38-5666 FAX 0968-38-6644  
入所定員：70名 通所定員：40名

当施設は平成9年、開設し、今年で21年目を迎えます。県下で初めてユニットケアを取り組んだ施設です。一般棟45床、認知症棟25床で、入所、短期入所、通所リハのサービスを提供しています。長年培ってきたユニットケアと認知症ケアの実績を活かし、多方面からの実習や見学を受け入れながら、自分たちも学ぶ姿勢を忘れることなく、日々のケアを実践しています。職員には認知症ケア専門士や認知症キャラバンメイトも多く、認知症であっても、その人らしく過ごして頂けるよう、QOLの充実、良質なケアが提供できる環境づくりを心がけています。又、おれんじカフェ「なないろ」の運営も行っており、毎月7日の開催日には施設のご利用者やご家族をはじめ、地域の皆様にも憩いの場となっています。今後も基本理念に掲げる「障害の垣根を越えて人が人として出会う場所」として、地域の皆様に信頼・必要とされ、地域貢献できる施設として、努めていきたいと思っております。



## 原稿募集

「ろうけん熊本」では紙面の充実の為、老健施設職員の皆様からの様々な情報、写真等を随時募集しております。

応募してもいいと思われる方は、このページを切り取るか、コピーなどで送信ください。簡単な内容をお知らせください。後日、広報委員からご連絡申し上げます。

### FAX送信票

<送信先> FAX 0966-26-3680 熊本県老人保健施設協会 事務局 広報委員 行

- |  |                                      |
|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ペット自慢 ( )     |                                      |
| <input type="checkbox"/> 施設の活動について     | <input type="checkbox"/> うちのイケメン職員紹介 |
| <input type="checkbox"/> 行事の記事や写真      | <input type="checkbox"/> 施設の人気料理メニュー |
| <input type="checkbox"/> 研修の感想         | <input type="checkbox"/> レクリエーション紹介  |
| <input type="checkbox"/> うちの地域の自慢や祭り紹介 | <input type="checkbox"/> 旅行記         |
| <input type="checkbox"/> その他 ( )       |                                      |

[施設名]

[お名前]

[ご連絡先] TEL

FAX

メールアドレス

※申し込み多数の場合は、ご連絡が遅くなる場合がございますのでご了承ください。

### お詫びと訂正

ろうけん12号5頁掲載の「熊本県老人保健施設大会」の優秀演題者に氏名の間違ひがありましたので、ここにお詫びし訂正させていただきます。

誤) ライフライト矢部 理学療法士 桑野 美香 様 → 正) ライフライト矢部 理学療法士 田中 俊裕 様

### 編集後記

広報誌「ろうけん熊本」の創刊号から8年になり、現在まで、研修や施設等の紹介をしてきましたが、皆さんは、ご覧頂いてるでしょうか？

これからも、広報誌「ろうけん熊本」は続けていきますが、現在、広報委員3名で運営している為、今後の活動にご協力して頂きたく、皆様からのご意見やご提案などございましたら、老健事務局までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い致します。

サンライフみのり 土肥

広報委員 土肥 英樹(サンライフみのり) 岩尾 英憲(山鹿リハビリセンター)  
後藤 健(青海苑)

印刷:シモダ印刷株式会社